

第5次荒尾市総合計画 基本構想素案に関するパブリックコメントを募集します

「第4次荒尾市総合計画 後期基本計画（平成19年度～23年度）」が本年度で終了するため、「第5次荒尾市総合計画」（平成24年度～33年度）の「基本構想」と「前期基本計画」の策定を進めています。このたび、まちの将来像や今後のまちづくりの方針となる「基本構想」の素案がまとまりましたので、市民の皆さんからパブリックコメントを募集します。

- 対象 「第5次荒尾市総合計画 基本構想」（素案）
- 閲覧場所 市役所総合窓口、情報公開コーナー、政策企画課
あらおシティモール市民サービスセンター
※市ホームページでも閲覧できます。
- 提出方法 所定の意見提出書に住所・氏名（または団体名）・電話番号などをお書き添えいただき、持参、郵送、ファクス、Eメールのいずれかで提出してください。
※電話や口頭による意見の提出は受付できません。
- 提出先 〒864-8686（住所不要） 荒尾市役所 政策企画課
FAX 64-0940
Eメール kikaku@city.arao.lg.jp
- 募集期間 11月21日（月）まで
※皆さんからお寄せいただいたご意見・ご提案については、後日、市の考え方を示し、市のホームページで公表します（住所、氏名などの個人情報公表しません）。
なお、それぞれのご意見への個別の回答は行いません。



▲第1回まちづくりワーキンググループで行われたワークショップ。



▲第4次総合計画前期（上）と、後期（左）

政策企画課 ☎ 63-1273

辛亥革命100周年記念に「友情の梅」を植えませんか

荒尾市出身の革命家・宮崎兄弟が大きな影響を与えた1911年の辛亥革命から、今年で100周年を迎えました。そこで今回、孫文と宮崎兄弟ゆかりの樹齢300年の梅を接ぎ木した「友情の梅」の苗木を無償配布します。



- 対象者 市長が認めた認定農業者と市内に住所を有する農業者
- 予定本数 約200本
※ただし1戸あたり10本までとし、先着受付順にて配布します。
- 配布予定時期 1月中旬を予定
- 申込期限 11月30日（水）午後5時
- 申込方法 FAXまたはEメール
農林水産課 ☎ 63-1443
FAX 62-3112
Eメール norin@city.arao.lg.jp

▲1913（大正2）年3月、孫文が荒尾を訪れた際に、宮崎家や地域住民の人たちとともに撮影された記念写真。背後にある梅の木は、樹齢およそ300年。現在も宮崎兄弟生家に残っています。この梅を接ぎ木した苗木を配布します。



▲中央左で帽子を手にしている孫文。その右側の着物姿が宮崎滔天。

荒尾市民病院

市民を愛する 市民に愛される 病院へ
Arao Municipal Hospital

市民病院を受診するとき、知っておきたい Q & A

- Q 初めて外来を受診したいのですが、どうしたらいいでしょうか？
A かかりつけ医がある人は、できるだけ紹介状を書いてもらってから来院してください。
- Q かかりつけ医がない場合は、どうしたらいいのでしょうか？
A 紹介状を持参されない場合は、選定療養費として1575円を負担していただきます。ただし、重症かつ救急で救急外来を受診する場合は、この限りではありません。
- Q 初めて外来を受診しますが、受付は何時までですか？
A 初めて外来を受診する人（予約のない人）の受付時間は、午前11時までです（一部の診療科を除きます）。これ以降に来院された場合は、連携している近隣の診療所などを紹介することがあります。
- Q 入院したいのですが？
A 入院の可否は、医師の判断で決定されます。当院は急性期病院ですので、病状によっては、他の医療機関や自宅での療養をおすすめします。ご希望に沿った対応ができないこともあります。

市民病院の診療方針にご理解とご協力をお願いします

当院は、地域の医療機関の医師の皆さんと協力し地域連携を行いながら、荒尾・大牟田・玉名郡市の救急医療、二次医療に携わっています。そのため、地域医療において地域の医師の皆さんと病診連携・病病連携をすすめ、各医療施設で役割を分担し、切れ目のない医療（地域完結型医療）を提供する中核病院としての役割を担っています。当院を受診する場合は、次のQ & Aを参考にいただき、診療方針にご理解とご協力をお願いします。

インフルエンザの予防と治療

予防

日常生活では、体調を整えて抵抗力をつけ、ウイルスに接触しないことが大切です。また、インフルエンザウイルスは湿度に弱いので、室内を加湿器などを使って適度な湿度に保つことは有効な予防方法です。

★日常生活で出来る予防方法

- ・栄養と休養を十分にとる
- ・人ごみを避ける
- ・適度な湿度、湿度を保つ
- ・外出後の手洗いとうがい
- ・マスクの着用
- ・（エチケットマスク）
- ・ワクチン接種

治療

インフルエンザの症状がでたら、早めに医師の診察を受けましょう。発症から48時間以内であれば、インフルエンザウイルスの増殖を抑える薬（タミフル）が処方されるようになります。早ければ早いほど効果的です。

★なかなか病院に行けない場合

- ・安静・睡眠・栄養をとる
- ・脱水予防
- （水分を十分にとる）
- ・高熱・痛みが出たときは、解熱鎮痛剤を飲む
- （38・5℃を目安に）

糖尿病教室 瑞鳳会 参加しませんか！

テーマ： 代謝内科医からのお話 ～糖尿病について～ 気軽にご参加ください

- 講師 小野 薫（医師）
- 日時 11月11日（金） 午後2時15分～4時
- 場所 地域医療研修センター（南病棟4階）
- 参加費 無料（事前申込不要）
- 市民病院 ☎ 63-1115（代謝・内分泌内科外来）

～看護師 随時募集中～ 詳しくはホームページをご覧ください